

はっとこどもえん えんだより 2020ねん 11がつごろ



わたし（3歳児）

社会福祉法人 種の会

幼保連携型 認定こども園 はっとこども園

〒657-0855

神戸市灘区摩耶海岸通2丁目3-14

TEL：078-805-3810

FAX：078-805-3820

携帯：080-3033-1952

Mail：hat@tanenokai.jp URL：<http://www.tanenokai.jp/>

種の会 法人本部Mail：tanenokai@jupiter.ocn.ne.jp



★ 避難訓練のお知らせ

今月から年度末までの避難訓練は、いざという時の対応ができるように、告知なしで行ないます。今月は、地震津波の訓練を行ない、6番館へ避難します。

★ 健診の日をお知らせ

●眼科健診	11月 9日(月) 13:30~	4・5歳児
●歯科健診	11月10日(火) 10:00~	全園児
●内科健診	11月12日(木) 13:00~	全園児
●耳鼻科健診	12月 3日(木) 13:00~	乳児対象児・4・5歳児

★ 持ち物に必ず名前を書いてください

紛失予防の為、すべての持ち物に記入してください。

★ ビニール袋・トイレットペーパー・ティッシュの寄付を募ります
ご協力よろしくお願いいたします。

★ 運動会のアンケートの回答をいただきありがとうございました。
今後の参考にさせていただきます。



プログラミング的思考を試行（実践）します！

園長 ^{かたやま} 片山

朝夕はとても冷える気候となり、山を眺めると紅葉が美しく彩る季節となってきました。先月10日の運動会は、初の2部制形式とし、人数規模を制限させて頂いた中でお越しいただきました。アンケートへのご協力もありがとうございました。

また、幼児クラスは例年とは少し違った方法で遠足に行きました。コロナ渦においても子ども達にとって大切な「行事を通じた経験」は何か、引き続き新たなスタイルを模索しながら実践してまいります。

全国の小学校では、コロナ渦でなければ今年度からスムーズに導入される予定であったプログラミング教育ですが、私達も昨年、それがどのような教育となるのか、乳幼児教育・保育を実践する私達も模索すべきだと考え、勉強してきたところです。

そのプログラミング教育（保育）を、今月（11月）は1回、来月には2回の計3回にわたって専門の講師を招きまして、5歳児クラス（かもめ組）で試行することに致しました。5歳児という幼児期に、プログラミング的思考を育むための遊び（＝保育）が子ども達にとって有益なのかどうか、やってみないと分からない部分が多々ありますが、きっとワクワク・ドキドキしながら意欲的な姿を見せてくれるのではないかと思います。

現代の世界は（特にコロナ渦で加速）、コンピュータを様々な場面で活用し、人々の生活を便利で豊かなものにしていくことを求めています。あらゆる活動において、情報を適切に選択・活用・編集して、問題を解決していくことが望まれる社会になってきているように感じます。

コンピュータを活用していくためには、その仕組みを知ることが重要です。コンピュータは人が指示を与えることによって動作します。端的に言えば、この命令が「プログラム」であり、指示を与えることが「プログラミング」だそうです。

プログラミング教育は、子どもたちの可能性を広げることにもつながると考えています。創造力を発揮して、起業する若者や特許を取得する子どもが現れています。子どもが秘めている可能性を発掘し、将来の社会で活躍するきっかけとなることも考えられます。コンピュータを理解し上手に活用していく力を身に付けることは、これからの社会を生きていく子どもたちにとって、将来どのような職業に就くとしても、重要なことだと認識しています。

大前提として、子どもがプログラミングを「体験」し、取り組むことの楽しさや面白さ、ものごとを成し遂げたという達成感を味わうことになっていけば「もっと活用したい」、「さらに上手に活用したい」といった意欲も出てくると思います。その過程で「プログラミング的思考」が育まれ、さまざまな分野における学びも充実していくことが想像されます。“自らが意図する動きを実現するために試行錯誤すること”が極めて重要と捉えられています。

私達、オトナもこのような思考を鍛えていきながら2020年代をよりよく生きていきたいものですね。

子どもの成長とイベントを支える力に感謝

副園長兼主幹保育教諭 はら 原

今年は規模を縮小した2部制での運動会となりました。ご理解いただきありがとうございます。また、1部2部通して道具係をしていただいたお父さん、大変助かりました。皆様のご協力があったできた運動会であり、重ねて御礼申し上げます。子ども同士の関わり合いやいきいきとした表情を見て、一人ひとりが豊かな経験になったと実感しています。

運動会前は「かっこいいところを見せるぞ」「友達と力を合わせて頑張るぞ」と少し難しいことに挑戦し、一つひとつできていくことを喜びながら、友達や先生達とお稽古に励んできました。そして当日を経て、運動会後は自分たちで組体操の真似っこあそびをする3・4歳児がいたり、3～5歳児が混ざりながらパラバルーンをする姿があったり、「かけっこしよー」と友達を募り、園庭をぐるぐると何周も回って遊んだりする姿もありました。どの子どもも憧れや好奇心を持ち、のびのびと楽しみながらやりきっていて、子ども達の吸収力やイメージを実現する力、年齢関係なくいろいろな友達と遊びながら関係を深めることができる力には、毎年のことですが驚かされます。秋は、この“憧れ”“自己発揮”“協同”ができた体験を活かして、異年齢グループでの遊びや関わりを濃くしたり、同年齢での友達との繋がりを大切にした全体活動やグループ活動をしたりしていきながら、幅広い多様性を培える保育をしていきます。

上の部分にも書きましたが、運動会の開催や日頃の園生活において、多くの人の支えがあって運営させていただいております。その中の一つとして「おやじの会」があります。おやじの会は、“子ども達の笑顔のために”を合言葉として、子ども達が楽しめる企画を考え、開催して下さるために立ち上がった会です。今年度は、高橋さん（かもめ組）・西垣さん（にし組）、2名のおやじが立ち上がって下さいました。

そして、10月31日土曜日には「ハロウィン花火パーティー」として、パンダコアラ公園（西郷川河口公園）で仮装ウォークラリーと園庭で花火鑑賞を企画して下さいました。新しい生活様式での実施で制限がある中、子どもも大人もみんなが楽しめるようにするにはどうしたら良いか、また、今年は花火を見たことがない子が多いので見せてあげたいとの思いから、花火の計画を立てて下さいました。参加者の期待度の高さを感じ、どうやったら応えることができるかなど、様々な思いを巡らせながら、何度も話し合いを重ねられていました。お仕事や子育てで忙しい中、企画を練り上げたおやじの会の2人と、当日のお手伝いを買って出下さったお父さん・お母さんのご協力のもと、たくさんのおやじが参加することができる会となりました。

また、公園を使用することを快諾して下さいました地域の方にも感謝しております。

このように、園・保護者・地域という色々な人が、三位一体となって取り組めることが、子ども達の豊かな成長につながるのだと改めて実感しました。



〇さい
おひさまぐみ

ふくやま
福山
ふじむら
藤村
たけなか
竹中
やまもと
山本

11月

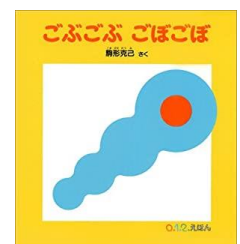
- 【ねらい】 落ち葉や木の実を見たり触ったり、外気にあたり秋を感じる
【領域活動】 シール貼り・紙遊び（ちぎる・丸める）・リトミック
【わらべうた】 ♪お寺のおしょうさんが ♪トウキョウト
♪あしあしあひる
【うた】 ♪こぎつね ♪大きな栗の木の下で ♪まつぼっくり
【食育】 いろいろなきのこを裂く

ごはんの様子

0歳児の全員が幼児食への移行が完了しました。今は、1つの机に3人ずつが座り、そこに保育者が1人ついて介助しています。食事までの流れに見通しを持っていて「ご飯いくよ」と声をかけると、手洗い場へ向かい、手を洗い終わったら自分の口拭きタオルを取ってから席に着くことが出来ています。自分の席に着くと、エプロンを付けようとする子・スプーンを持って食べ始めようとする子などがいますが「もうちょっと待ってね」「みんなでいただきますしようね」と声をかけ、なるべく3人揃っていただきますができるようにしています。好き嫌いもそれぞれ出てきて、野菜を嫌がったり、お肉を嫌がったり、白米が残ってしまったり、味覚の成長や自己主張をする頼もしさを感じています。また、具材を小さくすると食べられたり、こちらの言葉がけで食べられたりすることもあるので、担任で話し合い、いろいろと工夫しながら進めています。毎日完食できることが1番ですが、それだけではなく、楽しく食事ができることを大切にこれからも関わっていきます。

絵本

絵本をよく見てくれるようになった子ども達。朝のお集まりの時に1～2冊の絵本を見ています。季節の絵本や月齢や発達に合う絵本を選んでいるのですが、集中してよく見てくれる絵本・途中で興味がなくなり子ども達が散らばってしまう絵本など、様々です。その中で今、子ども達が大好きな絵本が『ごぶごぶ ごぼごぼ』です。赤ちゃんがお腹の中にいた時に聞いている音をイメージされているようで、独特な絵とリズムや響きがおもしろいようです。絵本の言葉を真似して言ってみたり、ケラケラ笑ったりして見ている子ども達。絵本の貸し出しにも置いていますので、ぜひご家庭でも読んでみてください。



クワズおたより



1さい
おひさまぐみ

ふくやま たけなか
福山 竹中
ふじむら やまもと
藤村 山本

11月



- 【ねらい】 園庭遊びや散歩で季節感を味わい、友達や保育者とやりとりを楽しむ
- 【領域活動】 シール貼り・感触遊び（フラワー紙）・絵の具・散歩
- 【わらべうた】 ♪お寺のおしょうさんが ♪トウキョウト ♪あしあしあひる
- 【うた】 ♪こぎつね ♪大きな栗の木の下で ♪まつぼっくり
- 【食育】 いろいろなきのこを裂く



お散歩

過ごしやすい気温になったので、HAT内や海岸沿いにお散歩に行きました。散歩に行くことを子ども達に伝えると、靴下や靴を一生懸命履こうと頑張り、帽子を自分でかぶって準備の段階からワクワクしている姿がありました。道中では、お花を見て「きれい！」と言ったり、落ちていた石や葉っぱを見て「持って帰りたい」と自然物に触れたり、「よーいどん！」に合わせて思いきり走り回ったりしていました。地域の人に挨拶をしたり、街を走るトラックや救急車、ショベルカーを見て嬉しそうに目を輝かせたりしながらお散歩を楽しみました。お友達と手をぎゅっと握って横断歩道を渡ることも出来ました。



クレパスでおえかき

クレパスでおえかきをしました。大きな模造紙に思い切り腕を動かして模様を付けたり、一人ひとりに用意した画用紙になぐり描きをしたり、点などを描いたりしていました。「赤！」「青！」と色を声に出して楽しみながら描いている子、「これは？」と何色なのか質問する子など、色に興味を持っておえかきする姿が見られました。星の形に見える模様があると「きらきら星」を歌ったり、クレパスをとんとんとリズムよく画用紙に打ちつけて「とんぼのめがね」を歌ったりしておえかきを楽しみました。

11月も引き続き散歩に出かけ、季節感を味わい、フラワー紙を使った感触あそびにも取り組んでいきます。





2さい
なぎさぐみ

おかの 岡野 おおしま 大嶋 ささい 笹井

- 【テーマ】 秋の景色をたのしもう！
- 【活動】 楽器遊び～音楽隊になろう～
絵の具・のりあそび～大きな木を作ろう～
- 【わらべうた】 ♪かれっこやいて ♪お寺のおしょうさんが
- 【うた】 ♪もみじ ♪やまのおんがくか
- 【食育】 さつまいも



～散歩～

運動会の練習で、渚中学校に行く時に手を繋いでいくことが出来たので、今度はパンダコアラ公園（西郷川河口公園）に散歩に行きました。

「一緒に手を繋ごう」と言って、自分からお友達を探し2人組になって歩くことが出来ました。道中では「公園楽しみだね！」「虫いるかな？」など期待に胸を膨らませていました。工事現場を興味津々に眺めたり、地域の方に「こんにちは」「公園に行ってくる！」と元気よく挨拶をしたりしていました。

公園に着いてからは、池にいる魚やカニを見つけて「カニがいる！」「どこどこ？」「岩の下！」などと、会話しながら新しい発見を楽しんでいました。他にもタンポポの綿毛を「フーッ！」と吹いたり、公園を駆け回ったりして、自然を満喫することができました。



～栗～

調理の先生に栗を持ってきてもらい、1番最初にいがぐりを触りました。恐る恐る触ってみると、「チクチクする」「注射したことあるから痛くない！」など感じたこと、見たことをそれぞれ言っていました。そして、次はいよいよ栗を食べる番。スプーンで殻からすくうことに苦戦しながら「甘い」「おいしい」「匂いがする」などと言いながら美味しそうに食べていました。

後日、いがぐりをタワシに見立てて、「ちくちくするね」「痛かったね」「痛くないよ」など言いながら、絵の具をつけて大きな紙にひっかき絵を行ないました。





なかたに ひらくり
中谷・平栗

- 【テーマ】秋の自然物や食べ物に親しもう
- 【製作】葉っぱスタンプ
- 【うた】♪もみじ ♪いもほりのうた ♪山の音楽家
- 【リズム】楽器を使ったリズム打ち（7拍打ち）
- 【運動遊び】簡単なルールのあるゲーム遊び
- 【園外保育】さんぽ（近隣の公園）
- 【栽培】冬野菜の水やり
- 【クッキング】サツマイモを使ったクッキング
- 【食育】秋の食べ物
- 【異年齢活動】フリーデイ・グループ活動（お祭りごっこ）



～先月の様子～

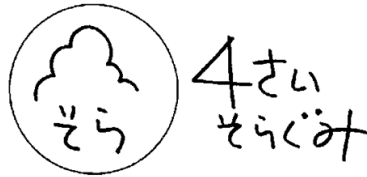
○散歩に行ったよ

天気がいい日は散歩に行き、秋探しをしました。「公園にはどんな虫がいるかな？」「どんぐりやまつぼっくりあるかな？」と秋ならではのものについてみんなで話をしてから出発しました。公園に着くとさっそく「どんぐり見つけた～」と何度も持ってきていました。その他にも、木の枝や木の実、変わった形の石など、いろいろな物を発見し持ってきてくれました。「これはなに？」と知らない木の実や虫に興味を持つ姿もありました。園庭にはない自然物にも触れ、秋をたくさん感じる事が出来ました。



○異年齢の秋祭り

4日間、異年齢のグループで活動しました。それぞれのグループごとで集まり、かもめ組さんを中心に、どんなことをしたいかを考え実施しました。そして4日目の最終日は、先生たちがお店を開き秋祭りが開催されました。子ども達は給食の机のグループごとにブースをまわり、輪投げ・ボーリング・魚釣り・ボール投げ・カラオケ大会・お化け屋敷と様々な活動を楽しみました。「どこから行きたい？」と聞いたり、「こうやってやるんだよ」と一緒にやってくれたり、かもめ組やそら組のお兄ちゃんお姉ちゃんが、にじ組さんに優しく接する異年齢ならではの素敵な姿がたくさんありました。



いすみ ぶくろか
和泉・福岡

11月
November

- | | |
|----------|----------------------------|
| 【テーマ】 | 彩りの秋 |
| 【絵画、制作】 | 秋のリース作り |
| 【折り紙】 | どんぐり |
| 【うた・リズム】 | ♪はたけのポルカ ♪まっかな秋
♪きのこ |
| 【農育】 | そら豆、じゃがいも、にんじん |
| 【クッキング】 | きのこグラタン |

【農育】 芋ほり

5月に植えた苗が日に日に成長していき、いよいよサツマイモの収穫時期になり、子ども達お待ちかねの「芋ほり」をしました。力を合わせて「うんとこしょ！ どっこいしょ！」とツルを引っ張ったり、スコップで掘ったりして、大きいお芋も、小さいお芋もたくさん取れました。なかなか出てこないお芋を引っ張っているときに、ネズミとお芋が出てくる絵本『おいもほり』を思い出した子が「中でネズミが引っ張ってるのかな？」と、ネズミに負けられないくらい頑張っって引っ張っている子や、畑から出てきたたくさんの虫をたくさん集めて、興味津々に観察している子、掘った後のツルを使って綱引きをしている子など、サツマイモ以外にも余すことなく「芋ほり」を楽しむことが出来ました。寂しくなったお芋畑は、また子ども達と話し合っって、新しい植物を育てようと思っています。



【絵画】 サツマイモ畑

楽しかった芋ほりをみんなで思い出しながら、大きな模造紙にみんなでお芋の畑を描きました。筆を使って、「どんな芋があったかなー？」と思い出しながら、「いっぱいあったよ！」と言って小さいお芋をたくさん描いたり、「こんなおっきいのが取れた！」と自分の顔くらいの大きさのお芋を描いている子もいたり、芋ほりの思い出を子ども達一人ひとりがとてもものびのびと表現していました。





5さい
かもめぐみ

11月

澤根

- 【テーマ】 秋～木の実で遊ぼう～
- 【絵画・造形】 いろいろな素材を使った動物版画
- 【グループ活動】 木の実を転がそう
- 【うた】 ♪ともだちになるために ♪まつぼっくり ♪やさきもグーチャーパー
- 【ピアノカ・楽器】 ピアノカ（きらきら星・メリーさんの羊）・いろいろな楽器に触れる
- 【園外保育】 なぎさ児童館・近隣の公園
- 【食育】 クッキング（お泊り保育）
- 【農育】 キャベツ・大根・白菜・ブロッコリー・えんどう豆の水やり・草抜き
- 【プログラミング】 ロボットを通して考える力を養おう

こんな、公園あったらいいな～！

～グループで友達と協力して描こう～

10月はたくさんお散歩にでかけました。そこで、葉っぱ探検隊となり赤や黄色や茶色の葉っぱを見つける事ができ、お散歩に行くたびに「この葉っぱ綺麗だよ」と秋を感じている子ども達でした。

拾ってきた葉っぱを使って、葉っぱスタンプをグループで行ないました。色を塗る時には、「葉っぱと同じ赤色にする！」と実物の真似をして塗ったり、葉脈に沿ってカラフルに塗ったり、色を塗る人とスタンプを押す人と役割を決めてしている姿もありました。「この葉っぱちょうだい」と友達同士で、葉っぱを分け合ったり、交換しあったりしていました。

翌日、落ち葉スタンプをした模造紙に、「こんな公園あったらいいな」とグループみんなが絵を描きました。

にこにこグループは、真ん中に大型遊具を描き、「お花畑があったらいいね」と話し、絵を描く子と色を塗る子に分かれて描いていました。公園の名前も、みんながつけたかった名前の頭文字を取ることに決めて、「みわさ公園」に決定しました。

るんるんグループは、大きな砂場はあるといいねと細かく砂場を書いたり、恐竜がいたら面白いと恐竜を描いたり、トイレがあった方がいいからとトイレも描いたりしていました。名前は、お泊り保育の時の名前を使うことになり、「ドラゴンハート公園」に決定しました。

きらきらグループは、遊具のたくさんある公園がいいなという話になり、滑り台やブランコを描いていました。名前は近隣の公園と同じ名前の「いわや公園」に決定しました。

わくわくグループは、木がたくさんあったり、川にはザリガニがいたり、きれいなお花が咲いていたり自然豊かな公園になりました。名前は、ドラゴンゴジラ公園になりました。

運動会を終えて、友達と心を一つにする事ができたかもめ組は、今回も友達と話し合いをしてイメージを共有し、役割分担を決めて協力して描いてました。来月も友達と一緒に協力してできる活動を予定しています。



つりのせいせい

やまおか
山岡

10月22日(木)はとこども園で“お祭り”が開催されました。今年は、新型コロナウイルスの影響で、お祭りそのものが子どもたちの周りから消えてしまい、お祭り独特の賑やかさや楽しさを知る機会が減ってしまいました。そこで、今回は職員が計画を立て、“あきまつり”と題してお祭りを行ないました。職員がそれぞれ出店をし、子ども達は、異年齢の3~4人のチームになってスタンプラリーという形で回りました。今月はその様子をお伝えしたいと思います。今回の経験が子ども達の中で“やりたい”という意欲につながり、しかも異年齢での関わりも、深まりながらできるといいな、と感じています。

うみの部屋<的あて・ロケット飛ばし・魚釣り>



たくさん並べられた紙コップの中にボールを入れます。色のついたコップに入ると点数が書かれてあり、「やったー！入った」と一喜一憂していました。



色画用紙を巻いた棒を使ってロケットを飛ばしました。机には点数が書かれてあり、そこまで飛ばすとそれぞれ点数が入ります。飛ばし方がわからないにじ組にかもめ組のお兄ちゃんが手伝う姿もありました。



プールに入った立体的な魚をチームで釣りました。時間内にどれだけ釣れるかを競いました。チームで協力してたくさんのお魚を釣っていました。



やまの部屋<ボーリング>

6本のピンにボールを投げて倒すゲーム。狙いを定めて投げる子、一生懸命転がす子、と年齢ごとに様々でした。

かぜの部屋<おばけやしき>



机や滑り台を使って道を作り、進んでいくと“おばけ”の絵が置かれていたり、本物(?)のおばけがいたり…。「怖い」と泣き出し、入れない子もいました。



ランチルーム<カラオケ>

チームごとに、マイクを使って好きな曲を歌いました。周りから、タンブリンや手拍子が入ったり、バックダンサーが踊りだしたり、とても盛り上がっていました。

台所の先生から







日本食の文化を知ろう

こんどう
近藤

日本の食文化にとって大変重要な時期である秋の日に、毎年一人ひとりが「和食」文化について認識を深め、和食文化の大切さを再認識するきっかけの日となっていくようお願いをこめて、11月24日を“いい日本食”の日と制定しました。「和食」は食事の場における「自然の美しさ」の表現、食事と年中行事・人生儀礼との密接な結びつきなどといった特徴を持つ、世界に誇るべき食文化です。この機会に、和食について見直してみましょ

◆◆ 日本の食文化「和食」の特徴 ◆◆

<p>○ 多様で新鮮な食材とその持ち味の尊重 新鮮な食材が豊富にとれ、食材を生かす調理技術などが発達しています。</p>  <p style="text-align: right;">新鮮</p>	<p>○ 健康的な食生活を支える栄養バランス 一汁三菜を基本とした食事は栄養のバランスがよく、生活習慣病の予防や日本人の長寿に役立っています。</p>  <p style="text-align: right;">健康的</p>
<p>○ 自然の美しさや季節を表現 季節の食材を使い、季節に合った器や盛り付けなどを工夫し、季節感を楽しみます。</p>  <p style="text-align: right;">季節感</p>	<p>○ 年中行事との密接な関わり 正月などの年中行事と密接に関わっています。家族や地域で受け継がれ、食の時間を共にすることで絆を深めます。</p>  <p style="text-align: right;">行事</p>

◆◆ 和食の五の知恵 ◆◆

「和食」には、季節の移り変わりを楽しみ、健康に過ごすための知恵がたくさんあります。その一つが「五色・五味・五法・五覚・五適」という、「五」にちなんだ食事の考え方です。そこには「食を大切に作る心」と「おもてなしの心」がつまっています

- ・五色：白・黒・黄・赤・青の五色を意味し、食卓全体の色の美しさを大切にする。
- ・五味：甘味・塩味・酸味・苦味・辛味を揃え、最後まで飽きずに食事を楽しめる。
- ・五法：生・煮る・焼く・蒸す・揚げる調理法で、味や食感の変化を楽しめる。
- ・五覚：味や香り、見た目、歯応え、喉越しなどを五感を使って味わうという考え方。
- ・五適：適温・適材・適量・適技・適心という五つの心遣い。

ほけんたより



看護師

ならき
櫛木

山山が色づき、秋の気配が色濃くなる頃、風邪やインフルエンザに加えて他の感染症など様々な病気が起こってきます。加えて今年はコロナによりインフルエンザのワクチン接種をされる人が例年より増えています。ここで乳、幼児に起きやすい感染症の特徴を一部挙げてみたいと思います。

病名	潜伏期間	症状、特徴	ポイント
溶蓮菌感染 (喉が痛くなる細菌の病気)	2～5日	主に喉に感染し咽頭炎、扁桃炎などの病気を起こします。舌が赤くぷつぷつと腫れる「いちご状舌」が見られることもあります。	比較的早く軽快しますが、合併症を起こさないためには症状が消えても医師の指示に従って、抗菌薬は飲まなくてはなりません。
おたふくかぜ (流行性耳下腺炎)	14日～18日	耳下腺の腫れ、顎の下まで腫れることがあります。39度前後の発熱。	髄膜炎、睾丸炎、卵巣炎、難聴などの合併症に注意が必要です。
突発性発疹		突然の高熱が3～4日続いて熱が下がると同時に全身に赤い発疹が現れます。	熱性けいれんに注意。
手足口病	3～7日	手足の発疹、口内炎、足の裏の発疹が特徴。ウイルスの種類により熱だけや発疹だけ、口内炎を伴う、結膜炎を起こすなど違いがあります。	ウイルスを含んだ便、唾液、目やに、咳のしぶきなどを解して感染する為、流水での手洗いをしっかりしましょう。
はしか(麻疹)	10日～12日	鼻水、咳、発熱、など風邪に似た症状が出ます(この時期の感染力が最も強い)コプリック斑という白い細かい斑点が一時的に出現その後特有の赤い発疹が全身に出ます。熱は7～10日ほど続きその後発疹は色素沈着を残して消えていきます。	感染力が強く免疫を持たない人にうつす割合は感染者1人当たり約12人～14人(インフルエンザは2～3人)脳炎、肺炎、中耳炎などの合併症に注意。

ウェルネス体育遊び

ななば
難波

10月の体育遊びでは、5歳児クラスはサーキット運動に加え、ポイント練習では鉄棒の逆上がり、跳び箱の開脚とびにチャレンジしました。その中でも一つひとつの技能にも向き合って行なえてきています。サーキット運動は、スピードと力のコントロールも出来ています。3歳児クラス、4歳児クラスでは、いままで同様、サーキット運動の中に技能課題も取り入れながら色々な動きを取り入れての実施。4歳児は鉄棒の前回りおりと、坂付き逆上りに挑戦。3歳児はでんぐりがえり（自分で回転力を生みだして）。サーキットでは、2つ以上の動きを実施しています。



11月の取り組みとねらい

サーキット運動

○3歳児クラス

U型サーキット

- サーキット運動で順番に進んでいく中で、待つところは待つ（順番）なども身につけていく。
- 引き続き、基本動作（走る・わたる・跳ぶ・ぶらさがる・押す・はうなど）を繰り返し行ない、動作の安定を図りながら、負荷を加えていきます。少しずつ複合動作（2つの動作）を経験していく。

○4歳児クラス

U型サーキット

- 複合動作（走りながら跳ぶ・支持しながら跳ぶという2つの動作を同時に行なう）をたくさん経験していく。
- 新たな動きの引き出しから、創造性、愉悦性などの魅力を感じる。

○5歳児クラス

U型サーキット

- 複合動作での動きの確かさを図る。
- 上肢は〇〇しながら、下肢は〇〇して〇〇するなど、上肢と下肢を同時に行なう。
- 複合動作を（走りながらジャンプし、直ちに、はうなど3つの動作を同時に行なう）安定して行なう。

ポイント指導

•3歳児クラス

- 鉄棒「足ぬき回り」⇒回った後に戻る動きにもチャレンジ。
- マット「でんぐりがえり」⇒回転力を生めるように。
- 跳び箱「開脚乗り」ジャンプから開脚で乗る。

•4歳児クラス

- 跳び箱「その場から開脚跳びこし」⇒体重を移動しながら跳び箱を押す。
- 鉄棒「坂付き逆上がり」⇒逆さになった時に、腕を曲げたまま行なう。

•5歳児クラス

- マット「側転」⇒マットに横向きに手を着いて、横に回る感覚を身につける。
- 跳び箱「開脚とび」⇒跳び箱を押して体重移動を行なう。両足を揃えてしっかりと蹴る。